

視察・研修報告書

視察・研修先	輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラム in 大野城市
日時	令和6年1月27日 13:30-17:30
場所	福岡自治研修センター まなびの宿ふくおか(大野城市)
テーマ	実践！どう創る？議員間討議
対応者 (講師)	議案発議者：盛泰子、奴間健司、山上高昭 全体共有：江藤俊昭、前田隆夫、神吉信之、菅太助
概要	
<p>●議員間討議</p> <p>実際の委員会における討議を想定して議案(テーマ)ごとに委員長1人、市民役1人、議員5人の設定で議案につき2グループに分かれて、下記について討議 中村は議案Bのグループで討議した。</p> <p>議案A：公民館休館日統一問題について 議案B：浄水場の縮小更新または廃止問題について 議案C：市町村合併後の図書館統廃合について</p> <p>●各議案、各グループ発表</p> <p>1議案2グループでそれぞれ討議した結果を発表。</p> <p>議案Aは休館日統一について反対、付帯決議のうえ原案賛成などにわかれたもの いずれも付帯決議のうえ原案賛成に収斂した。</p> <p>議案Bは浄水場の更新と廃止についてグループで分かれた。 私のグループでは浄水場の縮小更新で結論づけた。</p> <p>福岡市と北九州市をつなぐ緊急導水を活用することで水道水を確保するということだが、その条件として市独自の浄水場施設運営の撤退があった。しかし、大野城市、志免町などは独自の浄水場を保有しており、交渉によっては浄水場を更新運営することも可能だという議論がなされた。</p> <p>これは緊急導水が必要となった場合、北九州市で水が余っている状況は継続しないことも想定され、余剰を持つことが水不足になった場合、市民生活に必要ということからであった。</p> <p>議案Cは架空の公共施設、図書館統廃合について討議された。 いずれも統廃合については認めたものの、廃止された施設の利活用について言及された。</p> <p>●全体共有</p> <p>議員間討議の重要性について講話があり、各グループの討議について所感を述べられた。</p>	
所感	
<p>実際に議案や特別委員会に提案されたものが2件、架空の公共施設の統合問題について1件について、1件につき2グループにわかれて計6グループで討議された。</p> <p>私は浄水場更新または廃止問題について討議した。今回同じ議案であっても、メンバーや議論の論点によって結論が変わった。議案についての知識、論点、影響などあらゆる観点からの思考と議論の重要性を認識した。またあらためて議会および議員の責任の重さを感じられた。</p> <p style="text-align: right;">-作成者 中村 慎一郎-</p>	